

第340回政経フォーラム(9月4日)

福島第一原発事故を取材して

朝日新聞・社会部記者 青木 美希氏



9月4日、第340回政経フォーラムを開催し、朝日新聞・社会部記者の青木美希氏から「福島第一原発事故を取材して」と題して、事故現場の実態についてお話いただきました。

取材した中で「数秒でネジ一つを締めてこないといけない」「知っている者が行かないといけない」という原発作業員としての責任、使命感、そして苦悩が語られました。3月中は線量計が足りなくて、一人ひとりに渡らない現実があり、延べ3000人が線量計を持たずに作業を行っていたそうです。

実際に作業員だった方は「福島は原発に占拠された。事故前は推進側だったが、すさまじい事故で原発はいらないと実感した」と話されていたそうです。

また、2017年の春に住宅提供の大きな打ち切りがあり、1万2000世帯以上の住宅提供が終了しました。来春には対象区域が広がり、帰宅困難区域も打ち切られてしまいます。未だに自分の家で生活ができない現実がある中で、原発事故が収束したわけではありません。現地の方の苦しい現実を学ぶことにより、どのような社会をつくり出していくべきかを参加者一人ひとりが感じ取りました。

詳細はセミナーに掲載します。

平和の大切さを広めていこう！  
2019平頂山事件平和研修(9月14日～18日)



2019年平頂山事件平和研修を総勢18名が参加し開催しました。「九・一八歴史博物館」では、当時の写真や映像で日本兵の残虐な行為を目の当たりにして、加害の歴史を学びました。また、「撫順戦犯管理所」では、认罪教育について学びました。当初は、多くの日本兵が自ら戦犯であることを認めず、反抗を続けていましたが、中国当局の衣食住をはじめとした、生活全般にわたる温かい配慮により、非業の限りをつくした戦犯に対して、人格を認め、常にやさしく接したことで、日本兵が次第に反省と自己批判の立場に移っていったことを学びました。

平頂山事件の式典ではJR東労組として中央本部書記長の加藤団長が挨拶をし、当時日本人が犯した残虐行為への謝罪と二度と同じ過ちを起さないために日本の地で反戦・平和のたたかいを推し進めることを誓いました。

私たちは、過去に労働組合として戦争政策に賛成し、戦争へ突き進んでしまった現実を反省しなければなりません。そして、二度と同じことを繰り返さないために声を上げていくことが重要です。日本の加害の歴史から目を背けることなく、一人でも多くの方に平和の大切さを広め、職場から実践していきま



9・16 さようなら原発全国集会

安心して暮らせる社会をつくろう！

原発のない暮らしをめざす「さようなら原発全国集会」が9月16日、代々木公園で開催され、8000人(主催者発表)が結集しました。JR総連からは約150名(JR東労組65名)が参加しました。

原発に依存することなく、再生可能エネルギーの活用など、安心して暮らせる社会づくりを目指し、集会参加者は、デモで力強く訴えました。



『さようなら原発』一千万人署名・市民の会の落合恵子さんが主催者あいさつを行いました。その中で、核廃絶を目指して高校生が2001年から取り組んでいた核廃絶を訴える「高校生一万人署名」について、国連に提出された署名数が今年の夏で200万筆を超えたという報告がされました。

労働組合は必要だ！  
日韓職種間交流(9月7日～10日)

今年の日韓職種間交流には、韓国の工務職場の仲間13名が訪日しました。8日は盛岡地本、9日は大宮地本で意見交換と交流を行い、10日は山手貨物線事故現場を踏査しました。

韓国の仲間から、テグ地下鉄労組で、政府の施策によって1500名の組合員が一時は15名まで減りました。が、労働組合の必要性を一人ひとりと議論して、90%まで再度組織化してきた実践が報告されました。また、メトロ9号線労組からは、上下分離のフランス資本会社の運営で事故などが発生したことから、組合員の組織化と同時に、社会に訴える運動も展開して、フランス資本を追い出してきたというたかいの報告がありました。



訪日団・キム団長から「日韓の政府間では様々な問題があるが、労働者には関係なく、今回の交流で更に団結を強化しよう」と18春闘以降も若い仲間が再建に向けて頑張っていることに感銘を受けた。必ず再建できる」と感想が述べられました。

お互いの社会情勢や法律の違いはありますが、労働者には労働組合が必要であることを確認することができました。

◆ これからのサークル活動 ◆ 多くの仲間の参加をお待ちしています！

第22回バスケットボール大会

開催日 10月8日(火)～9日(水)  
場所 雫石総合運動公園 雫石町営体育館  
参加費 12,000円  
集約日 最終集約9月27日(金)

レールクラブ第6回定期総会

日時 10月10日(木) 14:00～  
場所 ひたちなか海浜鉄道 那珂湊駅構内  
集約日 9月30日(月)

第27回軟式野球大会

開催日 10月15日(火)～16日(水)  
場所 さいたま市荒川総合運動公園 野球場  
参加費 16,000円  
集約日 9月27日(金)

第28回登山大会

開催日 10月20日(日)～21日(月)  
場所 茶臼岳(1915m)  
参加費 11,000円  
集約日 9月30日(月)  
※応募人員100名になり次第、締め切ります。

ネイチャークラブ

第23回総会・第25回例会

日時 10月27日(日)～28日(月)  
場所 福島県湯本温泉ホテル美里  
参加費 13,000円  
集約日 10月4日(金)

第12回ボウリング大会

開催日 11月27日(水)～28日(木)  
場所 マッハランド(岩手県盛岡市)  
参加費 14,500円  
集約日 第一次集約10月18日(金)  
最終集約10月28日(月)

お詫びと訂正

緑の風700号(8月21日付)の3面、緑の風号外(9月10日付)の1面に一部誤りがありました。

訂正箇所

緑の風700号  
(誤) 日営業部会 第32回定期委員会  
→ (正) 営業部会 第32回定期委員会

緑の風号外 山口委員長あいさつ1行目  
(誤) 発端は、2018年6月13日の  
→ (正) 発端は、2019年6月13日の

お詫びして訂正いたします。